

【発行所】

佐賀県三養基郡みやき町
大字原古賀7324

独立行政法人
国立病院機構 東佐賀病院

【編集発行】 広報委員会

《基本理念》

信頼関係を大切にし、
地域に根ざした
良質な医療を提供します。



巻頭言



院長
貞松 篤

新年明けましておめでとうございます。

平成28年がスタートしましたが、皆様よい年を迎えられたと思います。

今年、平成28年は2年毎に行われる、診療報酬改定の年でもあります。今回の改定の骨子は、迫りくる超少子高齢化社会に備え、急性期病床の看護基準維持に必要な看護必要度の要件を厳しくする点にあります。しかし当院では既に昨年3月に一般病床140の内、60床を地域包括ケア病棟として運用を開始しており、大筋での対応は、ほぼ完成しています。この4月までになすべきことは今回の改定を詳細に検討し、当院の基本理念「信頼関係を大切にし、地域に根ざした良質な医療を提供します。」を具現化するために、診療機能・体制を微調整することにあります。このためには各職場の協力・職場間の連携が不可欠です。

また、この3月には待望の128列CTが稼働します。以前のCTに比較して高速・精密・低被曝量といった性能を持っています。これにより冠動脈CTも撮像可能になります。従来のCT検査が必要であった患者に加え、糖尿病患者に合併した冠動脈疾患の精査等で地域の患者へ貢献できます。

平成27年は地域包括ケア病棟の採用を行って、運営方針を大きく変更した年でした。平成28年は、医療機器等のハード面も含め中身の充実をはかり、地域から選ばれる病院も目指しましょう。

職員の皆様の活躍を期待しています。

目次

*題字「ひがしさが」 平野 長熙 名誉院長 書

■巻頭言	1
■「みやき町民祭」に参加して	2
■「第69回国立病院総合医学会」に参加して	2・3
■日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会に参加して	4
■職場紹介	4

■人事異動	5
■地域医療連携室のご案内	5
■医事統計	6
■外来診療担当医表	7
■病院アクセスマップ	8
■地域医療研修センターのご案内	8

『みやき町町民祭』に参加して

みやき町町民祭出店参加実行委員会

例年病院敷地内で『健康っ祭』を開催していましたが、今年は地域に密着した病院を目指しもっと地域の方々と触れ合うことを目的として、平成27年11月15日(日)、『みやき町町民祭』に参加の運びとなりました。

薬剤部が主体となって準備を行い、当日早朝より濃い霧のかかるなか会場である「こすもす館」に集合し会場設営。ひと段落ついたところで祭り開始前に参加者でパチリ。

骨密度測定、血圧測定、各種相談窓口(医師・薬剤師・栄養士・医療社会福祉士)のコーナーを設け、100名越える方々が来られ大盛況のうちに終わりました。

今回は、「健幸長寿フェスタ」がテーマでしたので隣設の保健センターにて血圧測定など行っていましたが、骨密度測定は当院のみでしたので、皆さん珍しそうに測定されていました。測定後の栄養相談が最も多く、テント内は待つ人もいる程でした。

一方で薬剤相談は4名程と寂しい結果で、栄養相談の待ち時間に利用される方もおられました。

大勢のメンバーで参加したため交代しながら他ブースを見学したり、地域住民の皆さんに混じって特典付きもちふりに参加したり、昼食は会場のB級グルメを堪能したりと出店側だけでなくお祭り自体にも参加することができました。

祭り終盤のお楽しみ大抽選会では、当院参加者からなんと5名も豪華賞品が当たるという嬉しいこともありました。

12月の病院忘年会では、この町民祭に参加した様子のビデオとスライドを上映しました。

後日みやき町役場にお礼方々訪問したところ、「来年も是非に」と温かい言葉をいただきましたので、来年も是非参加したいと考えています。

最後に、出店準備に関わっていただきました病院職員、みやき町役場の方々、関係機関の皆様に感謝申し上げます。



『第69回国立病院総医学会』に参加して

薬剤部 近藤 豊

2015年10月2日(金)から3日(土)まで北海道札幌市で行われた第69回国立病院総合医学会に薬剤部からは、私と製剤主任の副島啓司先生が参加しました。



私は1日(木)夕方より全国公立病院薬剤部科長協議会総会があるために一歩先に30日(木)福岡空港から千歳空港までの直行便で札幌へ行きました。会議の午後から爆弾低気圧の影響で雨風が激しくなり、東京などから来られた先生方は飛行機が遅れるなど大変でした。総会の後は、懇親会があり全国の薬剤部科長やOBの先生方と楽しい札幌の夜を過ごしました。

初日は、シンポジウム「病棟薬剤業務の普及・定着への課題」・ランチョンセミナー『当院における地域医療連携の取り組み～地域包括ケア病棟の運用を中心に』、午後からは当院 MSW 高口輝一さんの「MSW が病院経営に果たす役割～東佐賀地域医療連携室の目指す道程～」の口演や薬剤・薬理・薬剤管理の一般口演を聞き、夜はサッポロビール園での全員交流会に参加し九州地区の薬剤部の人達とジンギスカン、カニやジャガイモなど北海道の美味しいものをお腹いっぱい食べてホテルへ帰りました。

2日目は、ポスター会場にて当薬剤部の副島先生によるポスター発表の準備状況を見ながら時間まで薬剤・薬理関係のポスター発表を聞いて回りました。そしていよいよ副島先生の「地域包括ケア病棟導入による薬剤部への影響と」

→対策」発表！発表直後座長から『厚労省の推進している地域包括ケアシステム構築の演題でタイムリーですね。』との講評を頂き「ベストポスター賞」が頂けるかと思いましたが、次の発表が川棚病院薬剤部の「病棟業務を利用した退院後患者の服薬支援についての取り組み」という在宅支援に薬剤師が同行している内容で、わが薬剤部より一歩先の業務発表だったため『ベストポスター賞』はそちらに持っていかれました。同じブースの発表でなければもらえていたかもしれないと思いつつ総合医学会最後の夜は、副島先生が調べたスープカレー発祥のお店で慰労会を行いました。

また薬剤部の留守番組していた方々には、処方していただいたお土産処方せんを基に空港などで正確に過不足なく調剤し、無事に服用していただける事が出来ました。



13病棟副看護師長 中島 まゆみ

H27年10月2日、3日に札幌で開かれた第69回国立病院総合医学会に参加してきました。副看護師長研究会は、毎年倫理に関する教育への取り組みを行っており、今回はその内容をポスターセッションとして発表してきました。最近、TVでも施設等での虐待のニュースがよく報道されることがあります。その影響もあってか時代の流れと共に、患者・家族も病院や、看護師に対する質の向上や専門性を求める声は年々高くなってきているように感じます。看護師の言動・行動から患者・家族に少しでも安心感を与えられるようにするには、一人一人の言動・行動を見つめ直し、振り返ることが必要です。副師長研究会ではこの言動・行動を振り返ることができるよう評価表を作成し、実際に評価してみる事で、日常場面の倫理的配慮が行えているかどうかを考え、意識の向上と共に、実際に行動に移せるようになることを目指しています。

私自身、総合医学会への参加は久しぶりで、発表するとなるとやはり緊張感もありました。北海道から沖縄まで、全国の国立病院、国立病院機構からたくさんの方々が参加されており、その規模の大きさには毎回圧倒されます。しかし、総合医学会ということで、看護分野以外にも医師、薬剤師、臨床検査技師、リハビリ、栄養士、児童指導員、保育士、地域連携、事務部門など様々な職種の発表があり、興味深い内容も多数あるため、どの講演、発表を聞きに行くのか悩むほどです。今回発表したところ、同じように倫理教育に取り組んでおられる施設の方々よりたくさん関心を持って頂きました。自分達の発表に興味を持って頂き、とても嬉しく思い、達成感も感じました。発表後も会場で出会った方々と引き続き交流もあり、同じ目標を持っている同士として励ましあうこともできました。また、発表を通してたくさんの方々に支えて頂き、自分自身の成長に繋げる事が出来たことを感謝しています。

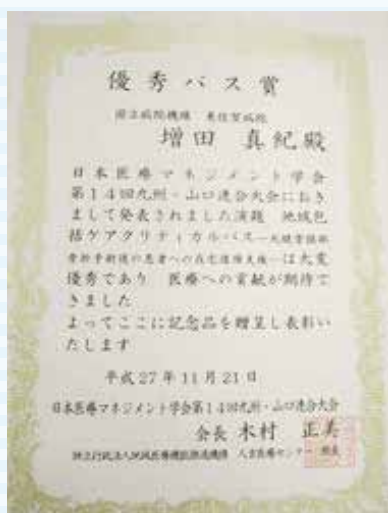
連携室 高口 輝一

平成27年10月2日に開催された第69回国立病院総合医学会（札幌市）に参加し、「MSW が病院経営に果たす役割」というテーマで口演発表を行いました。内容は地域包括ケア病棟の開棟にともなう MSW の広報活動や地域包括ケアシステムの構築に向けた医療機関・介護事業所との連携活動について発表しました。学会に参加したことで各病院が取り組んでいる広報活動・連携活動を聞くことができ、地域医療連携室の活動を行っていくうえで大変参考になりました。また運良くベスト口演賞もいただくことができたのは、とても嬉しかったです。

今回、参加して学んだことは今後の地域医療連携室の活動に活かしていきたいと思います。

日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会に参加して

2病棟(地域包括ケア病棟)副看護師長 増田 真紀



澄んだ秋空のもと、平成26年11月20日(金)、21日(土)に、熊本県人吉市において、日本医療マネジメント学会第14回九州山口連合大会が開催されました。そこで私たち2病棟は、大腿骨頸部骨折手術を受けられた患者様を対象に、地域包括ケア病棟の特色とも言える在宅復帰支援を盛り込んだクリティカルパスを作成し、その成果を発表してきました。九州管内の病院施設から、特に地域医療、医療安全などたくさんの取り組み発表があり、活発な意見交換が行われていました。今回のクリティカルパスは、手術の経過をわかりやすくしていくと同時に、社会福祉情報や退院支援の介入など、入院される患者さまが安心して退院の日を迎えられるためにどのような支援が必要なのかを考えて作成しました。他施設の方の関心も高く、具体的にどのように支援しているのか等の質問や意見をいただきました。医師やリハビリ、MSW などとも連携をとり、看護師長、メンバーと何度も試行錯誤を繰り返しながら作成したクリティカル

パスでしたが、思いもよらず『優秀パス賞』をいただくことが出来ました。クリティカルパス作成にご協力いただいた全ての方に感謝すると共に、大変有意義で貴重な時間を過ごさせていただきました。これからさらに、病棟スタッフ一同、退院支援の充実を図り、看護の質の向上にむけて努力していきたいと思います。



薬剤部の紹介

薬剤部は現在、平成25年4月より薬剤師が2名増え、薬剤師7名、薬剤助手1名のメンバーで日々の業務を行っています。

調剤・製剤業務をはじめ DI (医薬品情報) 業務・薬剤管理指導業務・治験薬の管理業務

などを行っています。さらに平成22年4月からは、注射剤の無菌調製業務を開始し、平成25年4月より薬剤師を2名増やし、一般病棟に専任の病棟薬剤師を配置し、入院中の患者さんが安全で効果的な薬物治療を受けることができるよう病棟薬剤業務を始めました。病棟薬剤業務では、入院した時に他の病院などで処方されたお薬(持参薬)を調べ、当院で採用されている同じ効果や効能があるお薬を医師に提案しています。また入院中にはお薬の効果や服用方法、副作用などを患者さんひとりひとりに説明書などでわかりやすく説明し、副作用がおこっていないか確認しています。退院時には入院中に服用されたお薬や退院時に持って帰られるお薬の情報をお薬手帳等に記載し他の病院や施設、保険調剤薬局等に患者さんの入院中の情報を提供しています。

また、「糖尿病委員会」「感染制御チーム」「栄養サポートチーム」「褥瘡委員会」「クリパス委員会」「セーフティーマネージャー委員会」等に参加し、それぞれの委員会で薬の専門家として貢献しています。

一方、地域包括ケアシステムを推進するために地元薬剤師会との定期的な情報交換を行い、診療連携を深め、外来患者さんに処方された薬が安全で且つ効果的に服用してもらえるよう取り組んでいます。これからも病院スタッフと協力して病院の基本理念である「信頼関係を大切に、地域に根ざした良質な医療の提供」に協力できるよう頑張りますのでこれからも宜しくお願いします。

副薬剤部長 楠原 哲也



人事異動

personnel changes

◆新採用者

日 付	氏 名	職 名	職 場 名
H 28.1.1	小 村 哲 史	給 与 係	管 理 課
H 28.1.1	笠 昭 子	療養介助員 (期間職員)	包 括 ケ ア 病 棟
H 28.1.1	小 杉 山 ひ と み	療養介助員 (期間職員)	包 括 ケ ア 病 棟

◆退職者

日 付	氏 名	職 名	職 場 名
H 27.12.31	石 井 早 紀	看 護 師	3 病 棟
H 27.12.31	宮 原 里 佳	看 護 師	外 来
H 27.12.31	今 村 孝 幸	看 護 師	2 病 棟
H 28.1.31	中 島 桂 伺	看 護 師	手 術

地域医療連携室のご案内

《ご利用方法について》

1. ご紹介いただく場合について

「診療情報提供書（当院様式以外のものでも結構です）」に必要事項をご記入いただき、ファックスにてご連絡下さい。診療情報提供書をすぐに送信いただけない場合は、直接、新患担当医師又は各診療担当医まで電話にてご連絡下さい。その場合の診療情報提供書は、できるだけ患者様が受診される日時までに、地域医療連携室までFAXいただきますようお願い致します。

2. 緊急時のご紹介について

緊急を要するご紹介は、直接各診療科医師へご連絡下さい。

患者様の症状などを医師同士でご確認していただくことにより、受入体制、各種検査室の手配など迅速に対応できます。また、救急搬送によるご依頼の場合には、救急当番医師が対応致します。

3. 患者様へのご説明について

受診当日に「予約案内書」「診療情報提供書」「健康保険証」をご持参のうえ、外来受付窓口へご提出いただきますよう説明をお願い致します。

4. ご報告について

診療結果につきましては、地域医療連携室または担当医から、ファックス若しくは郵便にて速やかにご報告申し上げます。なお、報告がないようでしたら地域医療連携室までご一報下さい。

5. 入院のご依頼について

入院をご希望の場合でも、いったん当院の医師の診察後に決定させていただきますので、ご理解の程お願い申し上げます。なお、緊急の場合は直接各診療科へお電話いただき、担当医にご相談いただきますようお願い致します。

6. その他

お問い合わせ、ご不明な点やご意見ご要望等がございましたら、いつでもご遠慮なく「地域医療連携室」へお知らせ下さいますように、お願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構東佐賀病院地域医療連携室

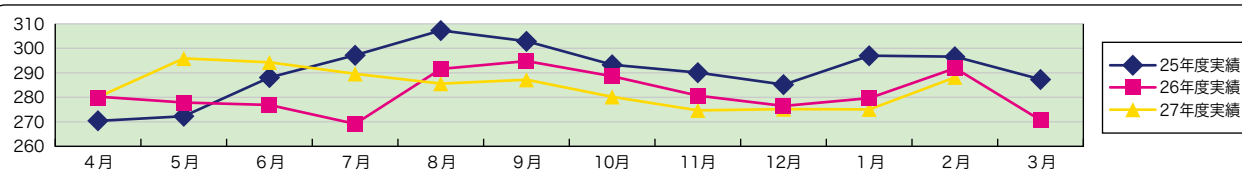
ご連絡は下記のファックス又は電話をご利用下さい。

代表：TEL 0942 (94) 2048 内線 309 直通：TEL/FAX 0942 (94) 3748 (FAXは24時間受付)
E-mail：renkei-56@hosp.go.jp <平日／午前8時30分～午後5時15分>

※平日午後5時以降及び土・日・祝祭日受付分は、翌日など出来るだけ早急に返事を送らせていただきます。

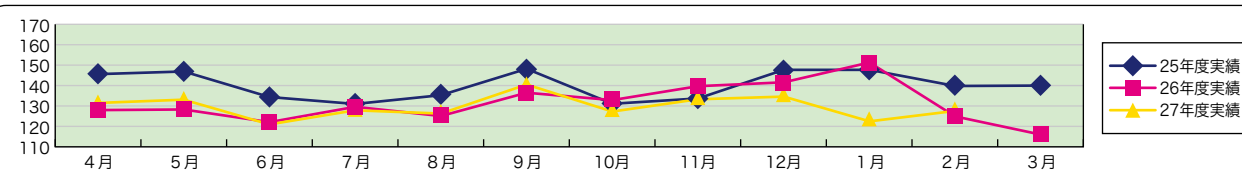
医事統計

1 日平均入院患者数



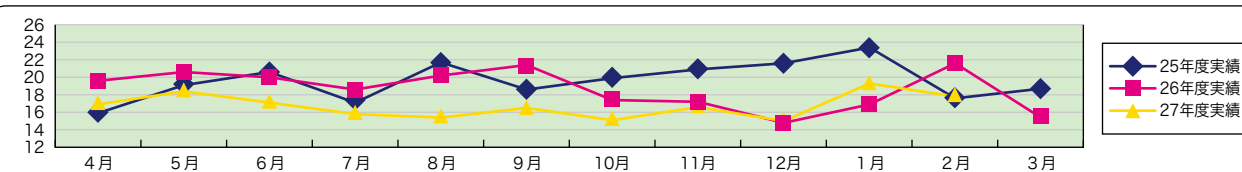
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度実績	270.4	272.3	288.1	297.2	307.3	302.9	293.3	290.1	285.2	297.0	296.6	287.3	290.6
26年度実績	280.3	277.9	276.9	269.2	291.6	294.8	288.6	280.7	276.5	279.7	291.9	270.6	281.5
27年度実績	280.1	295.9	294.3	289.6	285.6	287.2	280.2	274.7	275.2	275.1	288.2		

1 日平均外来患者数



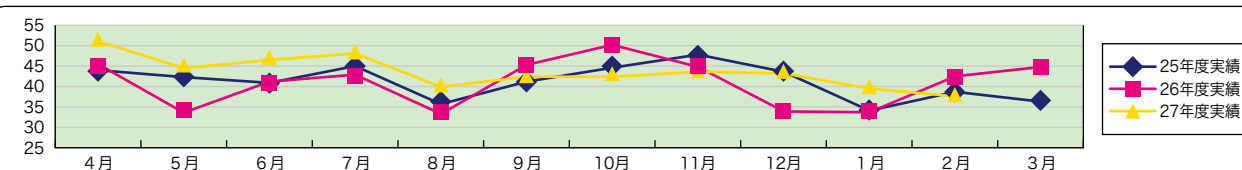
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度実績	145.6	146.9	134.4	131.0	135.3	148.2	131.1	133.7	147.7	147.7	139.8	140.0	139.9
26年度実績	128.0	128.3	122.1	129.6	125.1	136.5	132.9	139.7	141.6	151.3	124.9	116.0	136.6
27年度実績	131.5	133.1	121.0	127.9	126.3	140.5	127.3	133.3	134.6	122.5	127.6		

平均在院日数【一般病床】



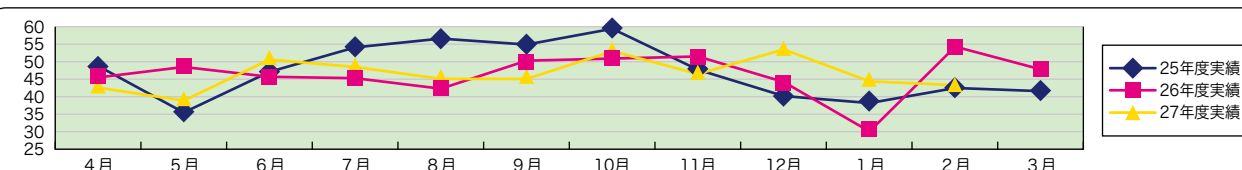
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度実績	15.9	19.1	20.6	17.1	21.7	18.6	19.9	20.9	21.6	23.4	17.6	18.7	19.5
26年度実績	19.6	20.6	20.0	18.6	20.2	21.4	17.4	17.2	14.8	16.9	21.6	15.4	18.6
27年度実績	16.9	18.4	17.1	15.8	15.4	16.5	15.1	16.6	15.0	19.3	17.8		

紹介率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度実績	44.0	42.3	40.9	45.0	35.7	41.2	44.6	47.8	43.6	34.1	38.7	36.3	41.0
26年度実績	45.5	33.6	41.2	42.9	33.3	45.3	50.2	44.8	33.9	33.7	42.5	44.8	40.7
27年度実績	51.1	44.5	46.5	48.1	39.9	42.4	42.4	43.6	43.2	39.5	37.6		

逆紹介率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度実績	48.8	35.5	47.1	54.1	56.6	54.9	59.4	47.7	40.2	38.2	42.5	41.6	47.1
26年度実績	45.5	48.5	45.7	45.3	42.3	50.3	50.9	51.5	44.2	30.1	54.3	47.8	45.8
27年度実績	42.6	38.9	50.6	48.5	45.1	45.1	53.0	46.5	53.5	44.4	43.3		

外来診療担当医表



(受付時間) 月曜日～金曜日 (祝日を除く)

新患・再来／8:30～11:30

※急患はこの限りではありません

〔小児科は午後も診療を行います。〕
14:00～16:30

FAX 0942-94-3137

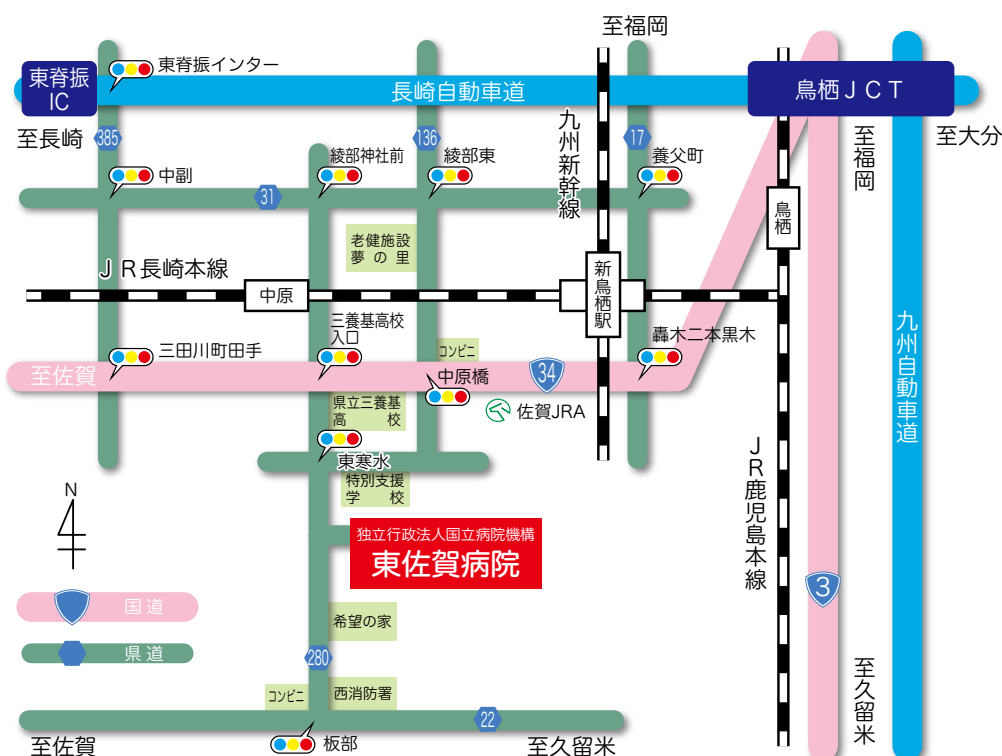
ホームページ <http://www.higashisaga-hosp.jp>

《平成 28 年 4 月 1 日》

診 療 科 目				月	火	水	木	金
内 科	新 患			小林 弘美 (呼吸器) 吉村 昌也 (消化器)	千布 節 (呼吸器) 高木 佑介 (糖尿病)	大井 順二 (消化器) 小林 弘美 (呼吸器)	犬山 正仁 (呼吸器) 大井 順二 (消化器)	吉村 昌也 (消化器)
	新 患 (隔週)							犬山 正仁 (呼吸器) 千布 節 (呼吸器)
	再 来	呼 吸 器		千布 節	小林 弘美	小林 弘美 犬山 正仁		千布 節
		消 化 器		吉村 昌也	大井 順二			吉村 昌也
		循 環 器		貞松 篤	貞松 篤	貞松 篤	貞松 篤	
		糖尿病・内分泌		高木 佑介		井上 瑛	高木 佑介	重本 里美 (9:30 ~) 高木 佑介
	専 門	甲 状 腺						
		肝臓専門外来		村山賢一郎				
外 科	消 化 器			北島 吉彦 志田 雅明	北島 吉彦	志田 雅明 辻 博治	辻 博治 北島 吉彦	志田 雅明 辻 博治
	呼 吸 器				辻 博治			
	乳腺外科 (予約制)							北島 吉彦 志田 雅明 (午後 1 : 30 ~ 予約制)
小 児 科	一 般		午前	山本 修一	荒牧 修一	上野 知香 予 防 接 種 (予約制)	山本 / 上野	横田 吾郎
			午後	横田 / 荒牧	荒牧 修一		沖 眞一郎	今吉美代子
	専 門	アレルギー	午後	山本 修一 (予約制)				
整 形 外 科	一 般			本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 上通由紀子	本岡 勉 上通由紀子
	専 門	骨粗しょう症						
		関 節						
		形 成		当面の間休診いたします。				
放 射 線 科				牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽	牛見 陽
消 化 器 内 視 鏡				大井 順二	吉村 昌也	吉村 昌也	吉村 / 志田	大井 順二
呼 吸 器 内 視 鏡						辻 博治		
心 エ コ ー								
眼 科						午後	午後	

- 栄養相談は、月曜日～金曜日まで毎日行っています。
- 金曜日の乳腺外来は予約制ですので、事前に外科外来にご予約下さい。
- 小児アレルギー外来は、小児の喘息、アレルギー性鼻炎やアトピーなどの診察、相談を行っています。
予約制ですので事前に小児科外来へご予約下さい。
- H28年5月より整形外科医師1名増員予定。
- 眼科外来は、当院にて治療中の患者様に限ります。

● 病院アクセスマップ ●



1. JR長崎本線普通列車「中原駅」下車。
南へ徒歩15分(1.4km)
●鳥栖駅～中原駅間 約9分
●佐賀駅～中原駅間 約17分
2. 西鉄バス(西鉄久留米)～(鳥栖駅)間
(あやべ經由41番)の「東佐賀病院前」にて下車。
●西鉄久留米より 約30分
●JR久留米より 約20分
●JR鳥栖より 約30分
3. 九州自動車道及び長崎自動車道
●鳥栖インターより(国道34号線經由) 約30分
●東脊振インターより(県道31号線經由) 約20分

地域医療研修センターのご案内

本センターは医療従事者の方であれば利用者の職種は問いません。
病院の職員をはじめ地域住民の皆様、及び医療機関の皆様、講演会・研修会・勉強会等医療・健康に関するコミュニケーションの場としてご利用下さい。

●お申し込み・お問い合わせ先●

東佐賀病院
管理課庶務係

☎0942 (94) 2048
(内線 333 又は 219)

編集後記

40号では、初めての参加となったみやき町民祭に参加の様子、また、北海道の札幌にて行われた第69回国立病院総合医学会での発表、熊本県の人吉にて行われた日本医療マネジメント学会九州山口連合大会での発表などが主な内容です。

今後も、地域行事や学会等をとおしてさらなる地域医療への貢献を期待したいと思います。

(編集委員長 辻 博治)